

工作兵曹、工作兵

三十一人

鍛冶	普高	三
航空板金	普高	二
鑄造	普高	一
機械	普高	二
航空熔接	普高	二
木工	普高	四
仕上	普高	一
	普高	一
	普高	三

衛生兵曹、衛生兵

十人

主計兵曹、主計兵

四十二人

掌理兵	普高	三
掌衣糧兵	普高	二
	普高	六

備考 兵曹四人、飛行兵曹九人、整備兵曹九十五人、機關兵曹六人及工作兵曹十六人ハ教員

ニ充ツ

参照 前記内令ハ當分ノ間迫濱海軍航空隊（知多分遣隊職員ニ充ツベキモノ）ニ人員臨時増設ノ件ナリ

内令第七百三十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七三三

内令

一七三四

鎮海海軍港務部

書 記 附 臨時一人

内令第七百三十一號

昭和十七年内令第七百二十六號中左ノ道改正ス

昭和十八年八月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「書記 附 臨時一人」ヲ「書記 附 臨時二人」ニ改ム

参照 前記内令ハ第四海軍軍需部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

1044

學總理長
常務長

給與係

糧食係

被服係

用品係

内令第七百三十二號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

其鎮守府ノ部佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十七號」ノ次ニ「第四十號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令

一七三五

1045

千七百三十三號 (後送ス)

内令第千七百三十三號

昭和十五年内令第五百二十七號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三號中後席ノ項職務分擔ノ欄「機上整備」ヲ「機上整備、射撃」ニ改メ記事ノ欄ニ左ノ二號ヲ加
フ

- 四 前號ノ場合ニ於テハ情況ニ應ジ搭乘整備者ヲシテ操縦補助ノ職務ヲ分擔セシムルコトヲ得
- 五 當分ノ間電信席偵察者一ヲ減ズルコトヲ得

参照 昭和十五年内令第五百二十七號ハ航空機搭乗者配員標準ノ件ナリ(内令提要卷一、一四〇ノ六頁)

内令

一七三七

1046

(別表)

海軍特別根據地隊職員表

共ノ十二

(昭和十八年内令第七百十三號)

考 備	計		隊 附			隊 附										揚子江方面	揚子江方面				
	特	士	主計	中少尉(水)	中少尉(機)	中少尉(工)	主計	中少尉	軍醫科尉官	軍醫科尉官	中少尉	少佐、大尉	少佐、大尉	兵科佐尉官	大佐			中佐	大佐	司令官	中少將
	七人	十六人 内兼務三人	一	一	一	四	一	一	三	二	一	一	一	一	二 内兼			一	一	一	一
兵		准	主計	衛生	工	機	水	主計	衛生	工	機	整	兵	主計	衛生	兵	兵	兵	兵		
士官		士官	兵	兵	兵	兵	兵	曹	曹	曹	曹	曹	曹	曹	長	長	長	長	長		
四百三十六人		七十六人	七人	十六	六	四	六十	三百五十	四	二	一	十八	一	五十	一	一	五				

一 副長ハ參謀ノ、兼務參謀ハ副官ノ兼務トス
 二 中少尉、中少尉(水)及兵曹長ハ合計員數ノ範圍内ニテ彼此増減スルコトヲ得
 三 下士官及兵ハ合計員數ノ範圍内ニ於テ彼此増減シ又他科ノ下士官及兵ヲ以テ充ツルコト
 四 特修兵ハ適當トス

内令第七百三十四號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十四日

海軍大臣 嶋田繁太郎

横須賀鎮守府ノ部横須賀防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十五號」ノ次ニ「第四十三號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

海軍省 經理長

係 係 係

内令

一七三九

1049

内令第七百三十五號

右警備驅逐艦ト定メラル

横須賀鎮守府豫備驅逐艦

驅逐艦 春風

吳鎮守府警備潜水艦

伊號第二百一潜水艦

伊號第二百二潜水艦

右練習潜水艦ノ役務ヲ兼ネシメ練習ノコトニ關シテハ海軍兵學校長ノ指揮ヲ受ケシメラル

昭和十八年八月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令第七百三十六號

潜水隊編制中左ノ通改定セララル

昭和十八年八月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七四二

内令

一七四二

第十八潜水隊ノ項中「伊號第五百五十三」ノ上ニ「伊號第二百二十一、伊號第二百二十二、」ヲ加フ

(内令提要卷一、七〇頁参照)

○正誤

内令一六七三頁ノ「第千二百六十八號(所要ノ向ニ配付ス)ハ」第千六百六十八號(所要ノ向ニ配付ス)ノ誤

Correction made

1051

内令第七百三十七號

昭和十八年内令第五十號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「第一魚雷調整班」ヲ「第一魚雷調整班」ニ改メ第二魚雷調整班ノ部ヲ削ル

参照 前記内令ハ第一魚雷調整班等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第七百三十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

箱山海軍砲術學校

中少尉(水)、兵曹長 附兼教官(教員) 一人(吳鎮守府在籍者)

兵 曹 (教員) 二人(掌機雷兵 高)(横須賀、吳鎮守府在籍者 各一)

内令

一七四三

1052

内令

一七四四

内令第七百三十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第四海軍軍需部

主計少佐、主計大尉

部員

兼務一人(第四十二警備隊主計長ノ兼務)

1053

經理長

掌櫃長

與係

食係

服係

品係

内令第七百三十九號ノ二

特務艇類別等級別表中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

(前送ノ分ト引換ヘ舊紙ハ燒却相成度)

特務艇、驅潜特務艇第一號型ノ項中「第六十號」ノ下ニ「第六十一號、第六十二號、第六十三號、第六十四號、第六十六號、第六十八號、第六十九號、第七十號、第七十一號、第七十四號、第七十八號、第八十號、第八十一號、第八十二號、第八十六號、第八十八號」ヲ加フ

(内令提要卷三、四二頁參照)

内令第七百三十九號ノ三

右本籍ヲ横須賀鎮守府ト假定ス

内令

*No. By set
rectified
after 1944
in houses for
part of island
#1717, 2 part
II of island
(housing) become
part of the main*

- 第六十八號驅潜特務艇
- 第八十二號驅潜特務艇
- 第八十八號驅潜特務艇

一七四四ノ二

内令

一七四四ノ三

右本籍ヲ吳鎮守府ト假定ス

第六十四號驅潛特務艇
第六十九號驅潛特務艇
第七十號驅潛特務艇
第七十八號驅潛特務艇
第八十六號驅潛特務艇

右本籍ヲ佐世保鎮守府ト假定ス

第六十二號驅潛特務艇
第六十六號驅潛特務艇

右本籍ヲ舞鶴鎮守府ト假定ス

第六十一號驅潛特務艇

右本籍ヲ大湊警備府ト假定ス

第八十一號驅潛特務艇
第六十三號驅潛特務艇

1055

右本籍ヲ鎮海警備府ト假定ス

右本籍ヲ高雄警備府ト假定ス

昭和十八年八月二十五日

第七十一號驅潛特務艇

第八十號驅潛特務艇

第七十四號驅潛特務艇

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七四四ノ四

1056

内令第七百四十號

綾瀨海軍航空隊（假稱）、愛媛海軍航空隊（假稱）、姫路海軍航空隊（假稱）及鳥取海軍航空隊（假稱）定員表各別表ノ通假定ス

前項ノ航空隊設立準備員ニ充ツル爲昭和十八年九月三十日迄必要ニ應ジ横須賀鎮守府（愛媛海軍航空隊（假稱）及姫路海軍航空隊（假稱）ニ在リテハ吳鎮守府、鳥取海軍航空隊（假稱）ニ在リテハ舞鶴鎮守府）ニ出仕又ハ附トシテ夫々別表定員ノ範圍内ノ人員ヲ臨時増置スルコトヲ得

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

（別表四葉添）

内令第七百四十一號

昭和七年内令第三百六十六號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

一七四五

1057

内令

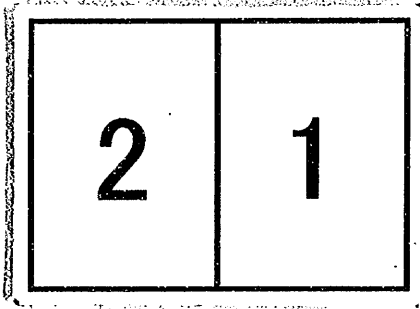
別紙及別表中「橘灣魚雷發射場」ヲ削ル

參照 本内令ハ各鎮管下ニ魚雷發射場設置ノ件ナリ

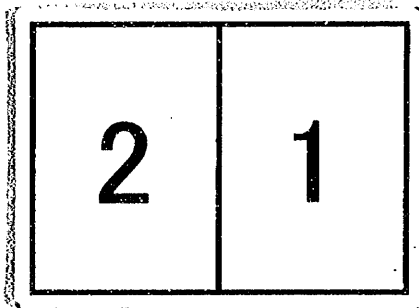
一七四六

1058

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	綾瀬海軍航空隊<(仮称)定員表(仮定)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 版以上のため
文書等名	愛媛海軍航空隊(仮称)定員表(仮定)
上記のとおり分割撮影したことを証明する。	

教員		特修兵		考		備		計		隊		隊		隊		隊		隊			
兵	曹	兵	曹	高等	文官	高等	文官	高等	文官	高等	文官	高等	文官	高等	文官	高等	文官	高等	文官		
三九二	飛行兵曹	三九二	飛行兵曹	五十二人	九十九人	九十一人	九十九人	九十一人	九十九人	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
一一三	整備兵曹	一一三	整備兵曹	五十二人	九十九人	九十一人	九十九人	九十一人	九十九人	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
一一	機關兵曹	一一	機關兵曹	五十二人	九十九人	九十一人	九十九人	九十一人	九十九人	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
六	工作兵曹	六	工作兵曹	五十二人	九十九人	九十一人	九十九人	九十一人	九十九人	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	
三九二 飛行兵曹 整備兵曹 機關兵曹 工作兵曹		三九二 飛行兵曹 整備兵曹 機關兵曹 工作兵曹		五十二人 九十九人 九十一人 九十九人 九十一人 九十九人		九十一人 九十九人 九十一人 九十九人 九十一人 九十九人		九十一人 九十九人 九十一人 九十九人 九十一人 九十九人		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二	
三九二 飛行兵曹 整備兵曹 機關兵曹 工作兵曹		三九二 飛行兵曹 整備兵曹 機關兵曹 工作兵曹		五十二人 九十九人 九十一人 九十九人 九十一人 九十九人		九十一人 九十九人 九十一人 九十九人 九十一人 九十九人		九十一人 九十九人 九十一人 九十九人 九十一人 九十九人		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二		二 二 二 二 二 二	

(別表第三)

姫路海軍航空隊(假稱)定員表(假定)

(昭和十八年内令第七百四十號)

兵曹	飛行兵曹	整備兵曹	機關兵曹	工作兵曹	教員	特務兵	考備	計		隊附		教官		教頭		隊附		分隊長		軍醫長		飛行隊長		整備隊長		飛行長		副官		司令							
								士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵	士官	兵
三					(高/普)兵砲掌 (高/普)兵的測掌 (高/普)兵帆掌 (高/普)兵號信掌 (高/普)兵信電掌 (高/普)兵號暗掌 (機/偵)兵行飛掌 爆射 爆爆 眞寫 學光 (高/普)兵備整掌 機 罐 (高/普)兵火內掌 (高/普)兵機電掌 冶鍛 械機 上仕 金板 接熔 造鑄 具木 (高/普)兵理總掌 (高/普)兵糧衣掌	一 兵科分隊長ノ中二人ハ飛行部指揮官、一人ハ内務科長、一人ハ整備部指揮官、一人ハ工業部、補機部指揮官ニ充ツ 二 隊附兵科尉官ノ中三人ハ飛行部附、二人ハ整備部附ニ充ツ 三 飛行長、飛行隊長、通信長、整備長、兵科分隊長三人、隊附兵科尉官、軍醫長並ニ隊附ノ中少尉(水)、(飛)、(整)及(工)ハ教官ヲ兼務ス 四 中少尉(水)及兵曹長ノ中一人ハ掌通信長ニ充ツ 五 中少尉(整)及整備兵曹長ノ中一人ハ掌飛行長、一人ハ掌整備長ニ充ツ 六 主計中少尉(主)及主計兵曹長ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ 七 飛行兵曹長及整備兵曹長ハ教員ニ充ツ 八 本表中兵科ノ特務士官、准士官、下士官又ハ兵ハ必要ニ應ジ各共ノ定員ノ範圍内ニ於テ彼此増減スルコトヲ得	三十五人 内兼務十五人	十六人 内兼務七人	中尉(水) 兼務一 中尉(飛) 兼務二 中尉(整) 兼務三 中尉(工) 兼務一 少尉(水) 兼務一 少尉(飛) 兼務一 少尉(整) 兼務一 少尉(工) 兼務一 中尉(主計) 兼務一 主計中尉(主)	軍醫少佐、軍醫大尉 兵科尉官 少佐、大尉 中佐 中尉	兼務一 兼務五 兼務四 兼務二 兼務二 兼務一	主計兵曹長 衛生兵曹長 工兵曹長 整備兵曹長 飛行兵曹長 兵曹長 主計兵曹 衛生兵曹 工兵曹 整備兵曹 飛行兵曹 兵曹	兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一 兼務一	二十八年 二百八十四 二十八 二十九 四 十七	三 二	六 二 十 五 四十 二十八 八	一 一 一 五 五 一	一 一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一	一 一 一 一

内令第七百四十二號

左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十八年内令第三百七十號

同 年内令第七百四十二號

(第四五二海軍航空隊ニ人員臨時増置ノ件)

内令第七百四十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置シ昭和十八年八月二十日ヨリ之ヲ適用ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二十二特別根據地隊

大 中 尉(水)

隊附兼分隊長

一人

中少尉(水)、兵曹長

隊附

二人

兵 曹、水 兵

百五人

機關兵曹、機關兵

五人

(特修兵適宜)

内令

一七四七

1065

内令

一七四八

内令第七百四十四號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十六年内令第六百五十六號及同年内令第千百十二號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南西方面艦隊司令部(特設給糧船箕面丸ノ補給連絡員ニ充ツベキモノ)

主計中少尉(主)、主計兵曹長 附 一人

海南警備府(特設給糧船第十七播州丸ノ補給連絡員ニ充ツベキモノ)

主計中少尉(主)、主計兵曹長 附 一人

兵 曹、水 兵 一人(掌信號兵)

主計兵曹、主計兵 一人

参照 昭和十六年内令第六百五十六號ハ海南警備府(給糧船第十七播州丸、箕面丸ノ補給連絡員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

同年内令第千百十二號ハ海南警備府(給糧船天境丸ノ補給連絡員ニ充ツベキモノ)ニ人員臨時増置ノ件

1066

内令第七百四十五號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第六十五警備隊

大 中 尉(水) 隊附兼分隊長

一人

中少尉(水)、兵曹長 隊附

二人

兵 曹、水 兵

九十九人

機關兵曹、機關兵

三人

衛 生 兵

一人

(特修兵適宜)

主 計 兵

二人

内令第七百四十六號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内 令

一七四九

1067

内令

一七五〇

千島方面根據地隊司令部

大佐 附

兼務二人 (一人ハ小樽地方在勤海軍武官ノ兼務
一人ハ釧路地方在勤海軍武官ノ兼務)

内令第七百四十七號

昭和十六年内令第八百二十七號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「名古屋」ノ下ニ「釜石」ヲ加ヘ兩館乃至基隆ノ欄ノ下ニ左ノ如ク加フ

伊	萬	里	灣
		一	人
		二	人
掌	帆	兵	一
掌	信	號	普
			一

參照 前記内令ハ臨時地方在勤海軍武官定員表ヨリ人員臨減ノ件ナリ

1068

内令第七百四十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

高雄海軍航空隊

大	中	佐	隊附兼教官	一人
少	佐、大	尉	分隊長	二人
			分隊長兼教官	三人
兵	科	尉	官	二人
軍	醫	少佐、軍醫	大尉	分隊長
軍	醫	科	尉	官
			附	一人
主	計	少佐、主計	大尉	分隊長
中	少尉	(水)、兵	曹長	隊附兼教官
			(教員)	一人
中	少尉	(飛)、飛行	兵曹長	隊附兼教官
			(教員)	四人

内令

一七五二

内令

一七五二

中少尉(整)、整備兵曹長	隊附兼教官 (教員)	六人	
中少尉(機)、機關兵曹長	附	一人	
中少尉(工)、工作兵曹長	附	一人	
主計中少尉(主)、主計兵曹長	附	一人	
兵曹、水兵		三十五人	掌砲兵(高) 掌帆兵(普) 掌舵的兵(高) 掌信號兵(普) 掌暗號兵(高)
飛行兵曹		二十八人	掌飛行兵
整備兵曹、整備兵		二百九十四人	掌整備兵 掌航空兵器兵(射爆一二六) 寫真(一)
機關兵曹、機關兵		二十六人	掌機兵(繼)三、掌內火兵(一)
工作兵曹、工作兵		十六人	掌工兵
衛生兵曹、衛生兵		七人	航空機換 航空機換 木具
主計兵曹、主計兵		二十二人	掌經理兵(二三) 掌衣糧兵(二)

1070

備考 兵曹三人、飛行兵曹二十八人、整備兵曹十人ハ教員ニ充ツ
新竹海軍航空隊

大	中	中	少	少	少	兵科	軍醫	軍醫	主計	中少尉	中少尉	中少尉
佐	佐	佐	佐	佐	佐	尉	尉	尉	少佐	(水)	(飛)	(整)
隊附兼教官	隊附兼教官	教官	分隊長兼教官	教官兼分隊長	隊附兼教官	分隊長	隊附	分隊長	隊	隊附兼教官(教員)	隊附兼教官(教員)	隊附兼教官(教員)
一人	一人	一人	三人	二人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	七人

内令

一七五三

1071

中少尉(機)、機關兵曹長	隊 附 一人	隊附兼教官(教員)	一人
中少尉(工)、工作兵曹長	隊附兼教官(教員)	二人	
衛生中少尉、衛生兵曹長	隊 附 一人		
主計中少尉(主)、主計兵曹長	隊 附 二人		
兵 曹、水 兵		掌砲兵 高三 掌信號兵 高三 掌電信兵 高三	掌帆兵 高一 掌電信兵 高三
飛 行 兵 曹		掌飛行兵(偵探) 一五	
整備兵曹、整備兵		掌整備兵 高三 掌航空兵器兵 高三 寫真 高三 雷爆(高) 高三 光學 一	
機關兵曹、機關兵		掌機兵 高三 掌內火兵 高三 掌電機兵 高三	
工作兵曹、工作兵		仕 鍛 冶 機 械 航空熔接 普高 普高 普高 普高 木 航空板金 普高 普高 普高 高一 具 普高 高三 高三 五	

内令

一七五五

衛生兵曹、衛生兵	七人
主計兵曹、主計兵	二十三人 (掌理兵) (高) (掌衣櫥兵) (普)
備考 兵曹八人、飛行兵曹十六人、整備兵曹四十一人、機關兵曹二人、工作兵曹十二人、教員ニ 充ツ	

1073

内令第七百四十九號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

佐世保鎮守府ノ部佐世保防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第三十九號」ノ次ニ「第四十二號、第六十二號」ヲ加フ

參照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令第七百五十號

當分ノ間掌水測兵艦船配員標準別表ノ通定ム

別表ノ人員ハ當該艦船其ノ他各部ニ乗組又ハ附トシテ臨時増置トス但シ各艦船定員又ハ乗員標準中掌水測兵タル下士官、兵ノ人員ハ別表人員中ニ含マレアルモノトス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

(別表添)

6/16/02 P.1771

内令

一七五七

1074

内令第七百五十一號

昭和十四年内令第八百九十一號中第一遣支艦隊司令部ノ部ヲ削ル

左ノ内令ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

昭和十五年内令第六十九號

同 年内令第七十號

同 年内令第七十一號

昭和十六年内令第七十號

(第一遣支艦隊司令部ニ人員臨時増置ノ件)

参照 昭和十四年内令第八百九十一號ハ第一遣支艦隊司令部等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第七百五十二號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

大分海軍航空隊

少佐、大尉 分隊長兼教官 一人
中少尉(整)、整備兵曹長 隊附兼教官(教員) 一人

内令第七百五十三號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年内令第九百六十九號中第一砲艇隊ノ部及第二砲艇隊ノ部ヲ削ル

昭和十三年内令第六千六號ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

南京警備隊

大	中	尉(水)	隊附兼分隊長	一人
中少尉(水)	兵曹長	隊附		四人
機關兵	曹長			一人
主計兵	曹長			一人

内令

一七五九

1076

内令

兵	曹、水	兵	四十一人	(吳鎮守府在籍者)
機關兵	曹、機關兵		三十八人	
工作兵	曹、工作兵		四人	
衛生兵	曹、衛生兵		四人	
主計兵	曹、主計兵		六人	
中少尉(水)	兵曹長	隊附	六人	
中少尉(機)	機關兵曹長	隊附	一人	
兵	曹、水	兵	八十九人	(佐世保鎮守府在籍者)
機關兵	曹、機關兵		四十人	
衛生兵	曹、衛生兵		二人	
主計	兵		二人	
特修兵	ハ適宜トス			

参照 昭和十三年内令第六千六號ハ第一砲艇隊ノ人員臨時増減ノ件
昭和十八年内令第九百六十九號ハ支那方面艦隊司令部等ノ人員臨時減員ノ件

一七六〇

1077

<p>内令第七百五十四號 左ノ内令ハ之ヲ廢止ス</p> <p>昭和十八年八月二十七日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>昭和十八年内令第二百六十八號 同 年内令第四百四十六號 (ニューギニア民政府ニ人員臨時増置ノ件)</p>	<p>内令第七百五十五號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p> <p>昭和十八年八月二十七日 海軍大臣 嶋田繁太郎</p> <p>特設航空機運搬艦りねん丸 機 關 兵 五人</p>	<p>内令第七百五十六號 當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス</p>
---	---	--------------------------------------

内 令

一七六一

1078

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍潜水學校(三百噸曳船(公稱第一五四五號)ノ乗員ニ充ツベキモノ)

兵 曹、水 兵 六人(掌帆兵(舵)一)

機關兵曹、機關兵 四人(掌内火兵 掌舵機兵 一)

内令第七百五十七號

昭和十八年内令第七百七號中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍航海學校ノ部中人員ヲ左ノ如ク改ム

大 中 尉(水) 教官兼分隊長 十一人 (横須賀鎮守府在籍者 各四、吳鎮守府在籍者 各三、舞鶴鎮守府在籍者 各一)

中少尉(水)、兵曹長 附兼教官(教員) 二十人 (横須賀鎮守府在籍者 各三、吳鎮守府在籍者 各二、舞鶴鎮守府在籍者 各一)

兵 曹 (教員) 百六十五人
 衛生兵曹、衛生兵 十七人
 主計兵曹、主計兵 四十四人
 水 兵 二十人

横須賀鎮守府在籍者 一四四
 吳鎮守府在籍者 五
 佐世保鎮守府在籍者 四
 舞鶴鎮守府在籍者 一
 一七五

参照 前記内令ハ新兵教育ニ充ツル爲海軍機雷學校等ニ人員臨時増置ノ件ナリ

内令第七百五十八號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

驅逐艦初春、初霜、若葉

兵 曹、水 兵 十三人(掌砲兵 二)

驅逐艦 五月雨

兵 曹、水 兵 六人(掌砲兵 二)

内令

一七六三

内令

一七六四

内令第七百五十九號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍水雷學校

機關兵曹、機關兵

十四人 (掌機兵(補機)
發電機兵(發電) 二)

内令第七百六十號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増置ス

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

特設水上機母艦國川丸

整備兵曹、整備兵

七人

内令第七百六十一號

當分ノ間左ノ通人員ヲ臨時増減ス

1081

昭和十八年八月二十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

増員

第十九聯合航空隊司令部

土浦海軍航空隊

大	佐	附	兼務一人(第十九聯合航空隊司令部附ノ兼務)
中	佐	教官	二人
少	佐、大	尉	教官兼分隊長 十一人
軍醫科	尉	官	隊附 二人
中少尉(水)、兵曹長	中少尉(水)、兵曹長	隊附兼教官(教員)	十二人(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各六)
中少尉(整)、整備兵曹長	中少尉(整)、整備兵曹長	隊附兼教官(教員)	三人
兵	曹	(教員)	四十六人

掌砲兵 高三〇(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各一〇)
 掌觀兵 高三二(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各六)
 掌信號兵 高五(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各三)
 掌電信兵 高九(吳、舞鶴鎮守府在籍者 各四)
 舞鶴鎮守府在籍者 各一〇
 舞鶴鎮守府在籍者 各六
 舞鶴鎮守府在籍者 各三
 舞鶴鎮守府在籍者 各四

内令

一七六五

三重海軍航空隊

整備兵曹	(教員)	九人 (掌整備兵)
衛生兵曹、衛生兵		十二人 (吳、舞鶴鎮守府在籍者 各六)
主計兵曹、主計兵		三十七人 (吳鎮守府在籍者 一七 (掌經理兵 二)、掌衣糧兵 二)、 (舞鶴鎮守府在籍者 二〇 (掌經理兵 一)、掌衣糧兵 一))
水兵、整備兵、機關兵		百十四人 (水兵 九四 (吳鎮守府在籍者 五四)、 (機關兵 九四 (舞鶴鎮守府在籍者 五〇))
大佐	教官	兼務一人 (第十九聯合航空隊司令部附ノ兼務)
中少佐	教官	二人
少佐、大尉	教官兼分隊長	十人
軍醫科尉官	隊附	二人
中少尉(水)、兵曹長	隊附兼教官	十人
中少尉(整)、整備兵曹長	隊附兼教官	三人
兵曹	(教員)	四十人 (掌砲兵 高一六、掌帆兵 高一〇、 (掌偵察兵 高五、掌電信兵 高九))
整備兵曹	(教員)	九人 (掌整備兵)
衛生兵曹、衛生兵		十一人

主計兵曹、主計兵
水兵、整備兵、機關兵

三十四人（掌經理兵一）
百四人

本人員中特務士官以下ハ吳鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス

追濱海軍航空隊

中 少 佐

教官 兼務三人（横須賀海軍航空隊職員ノ兼務）

少 佐、大 尉

教官兼分隊長 一人

兵 科 尉 官

隊附兼教官 二十一人

中少尉（水）、兵曹長

隊附兼教官（教員） 二人

兵 曹

（教員） 十四人（掌砲兵 高六八）

整備 兵 曹

（教員） 三十九人（掌整備兵）

機 關 兵 曹

（教員） 六人（掌電機兵）

主計兵曹、主計兵

十八人（掌經理兵 二）

水兵、整備兵、機關兵

四十五人

本人員中特務士官以下ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモノトス

内 令

一七六七

洲ノ崎海軍航空隊

中少佐 教官兼分隊長 一人

兵科尉官 隊附兼教官 六人

中少尉(水)、兵曹長 隊附兼教官(教員) 一人

中少尉(整)、整備兵曹長 隊附兼教官(教員) 一人

兵曹 八人 (掌砲兵 高三、掌帆兵 高一、掌信筒兵 高一、掌電筒兵 高四)

整備兵曹(教員) 二十五人 (掌整備兵 二、掌航空兵器兵 七、射撃 六、雷爆 四)

衛生兵曹、衛生兵 二人

主計兵曹、主計兵 七人 (掌經理兵 一)

水兵、整備兵、機關兵 二十人

本人員中、特務士官以下ハ横須賀鎮守府在籍者ヲ以テ充ツルモクトス

減員

追濱海軍航空隊

内令

中	中	中
少	少	少
尉	尉(工)	尉(整)
曹	隊附兼教官	隊附兼教官
長	(教員)	
(教員)		
五人	二人	三人

一七六九

1086

内令第七百六十二號

昭和十八年内令第五百八十四號別表中左ノ通改正ス

昭和十八年八月二十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

吳鎮守府ノ部佐伯防備隊ノ項驅潛特務艇ノ欄「第五十號」ノ次ニ「第五十九號」ヲ加フ

参照 前記内令ハ特務艇ノ本籍及所屬ノ件ナリ

内令

一七七

1087

陸軍省
陸軍大臣
陸軍部
陸軍省
陸軍大臣
陸軍部

内令第七百六十三號

昭和十七年内令第九百號支那地方在勤海軍武官及南方地方在勤海軍武官ノ在勤地ノ件中左ノ通改正

昭和十八年八月三十日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二號中「バタビヤ」ヲ「ジャカルタ」ニ改ム

(内令提要卷一、二二ノ三頁参照)

内令

一七七三

1089

陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部
陸軍省
陸軍部

内令第七百六十四號

當分ノ間氣象關係配員標準別表ノ通定ム

別表ノ人員ハ當該各部ニ附又ハ乘組トシテ臨時増置トス

昭和十六年内令第六百七十號、昭和十七年内令第八百六十號、同年内令第九百三十七號、同年

内令第七百九十八號、同年内令第七百六十八號、同年内令第二千二百八十二號、同年内令第二

千三百五十七號、昭和十八年内令第二百七號、同年内令第三百七十七號及同年内令第八百二十六號

ハ之ヲ廢止ス

昭和十八年八月三日

海軍大臣 嶋田繁太郎

内令

Correction cancelled by P. 2179 of Oct. 143.

Self after P. 1912 of Sept 1943.

(別表一葉添)

Self correction P. 1966 Sept 43

一七七五

1090